



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまや

コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 山内 英靖

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 田原口 裕基

TEL 022-742-3114

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 40,814 | △1.8 | 1,094 | △25.5 | 1,090 | △25.8 | 335 | △42.7 |
| 28年3月期第1四半期 | 41,584 | 8.8 | 1,470 | 63.8 | 1,470 | 65.9 | 584 | 292.9 |

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 527百万円 (△42.6%) 28年3月期第1四半期 919百万円 (113.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 30.90 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 53.93 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 69,706 | 29,213 | 36.4 | 2,336.93 |
| 28年3月期 | 69,824 | 28,847 | 36.1 | 2,324.20 |

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 25,337百万円 28年3月期 25,199百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 28年3月期 | — | 16.00 | — | 16.00 | 32.00 |
| 29年3月期 | — | | | | |
| 29年3月期(予想) | | 18.00 | — | 18.00 | 36.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 第2四半期(累計) | 85,500 | 1.3 | 2,850 | 0.7 | 2,900 | 1.6 | 1,070 | 0.2 | 98.69 |
| 通期 | 174,000 | 2.7 | 6,700 | 2.2 | 6,650 | 1.1 | 2,500 | 5.8 | 230.58 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期1Q | 10,847,870 株 | 28年3月期 | 10,847,870 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 5,455 株 | 28年3月期 | 5,435 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期1Q | 10,842,428 株 | 28年3月期1Q | 10,842,615 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

| | | | |
|-----|--------------------------|---|---|
| 1. | 当四半期決算に関する定性的情報 | P | 2 |
| (1) | 経営成績に関する説明 | P | 2 |
| (2) | 財政状態に関する説明 | P | 3 |
| (3) | 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P | 3 |
| 2. | サマリー情報（注記事項）に関する事項 | P | 3 |
| (1) | 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P | 3 |
| (2) | 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P | 3 |
| (3) | 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P | 3 |
| 3. | 四半期連結財務諸表 | P | 4 |
| (1) | 四半期連結貸借対照表 | P | 4 |
| (2) | 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P | 6 |
| | 四半期連結損益計算書 | | |
| | 第1四半期連結累計期間 | P | 6 |
| | 四半期連結包括利益計算書 | | |
| | 第1四半期連結累計期間 | P | 7 |
| (3) | 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P | 8 |
| | (継続企業の前提に関する注記) | P | 8 |
| | (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P | 8 |
| | (セグメント情報等) | P | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【事業全般の概況】

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)のわが国経済は、政府の景気・経済政策等の効果もあり、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費におきましては依然として先行き不透明な状況が続き、お客様の選別の目は一層厳しくなっております。かかる環境の下、当社グループ一丸となり、地域マーチャンダイジングの共同開発や、地産地消・地産全消の拡大展開に継続的に取り組みながら、酒販事業と外食事業の協働体制確立を推進しました。

当第1四半期末のグループ店舗数は、酒販事業331店舗(前年同期比9店舗増)、外食事業739店舗(同4店舗増)となり、グループ合計店舗数1,070店舗(同13店舗増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高408億14百万円(前年同期比98.2%)、営業利益10億94百万円(同74.5%)、経常利益10億90百万円(同74.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億35百万円(同57.3%)となりました。売上高の減少による売上総利益の減益に加え、酒販事業を中心に当第1四半期における積極的な出店政策の加速による設備投資や人財確保のための人件費など、一時的な販売費及び一般管理費の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益が減益となりました。

これからも、「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで社会に貢献する」こと、「地域社会そして世界の人々の健康で豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念を共有し、グループ全体としての企業価値の向上を目指してまいります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

【酒販事業】

酒販業界における、業種・業態を超えた競争は厳しさを増す一方、顧客嗜好の変化や、西日本を中心とする不安定な天候などの影響もあり、当四半期は業界全体として低調に推移したと思われまます。また、消費税増税後の需要減退からは脱却しつつあるものの、嗜好品需要は年初来厳しい環境が続いております。

かかる環境の下、専門小売業としての原点に立ち帰り、「お客様の視点に立った」輸入商品、地域商品の両面での品揃えの強化に注力してまいりました。

平成26年10月より20店舗で開始した「外国人旅行者向消費税免税販売」は、店舗数を順調に増加させ、当第1四半期末で58店舗に拡大させ、平均客単価は店舗平均の約10倍となり、免税酒販専門店として認知度を高めています。また、かねてより取り組みを強化してきた通信販売事業においても、拡大基調を続けています。

店舗店頭では、猛暑対策としての飲料品の露出を早い時期から高めることで、お客様ニーズへのタイムリーな対応を実践しています。また、父の日ギフト・サマーギフト商品の充実など、お客様の身近な生活催事への取り組み強化を実施いたしました。

新規出店は、大館樹海ライン店(秋田県大館市)、小田原店(宮城県仙台市)、伊勢崎連取店(群馬県伊勢崎市)、北浦和店(埼玉県さいたま市)、清見台店(千葉県木更津市)、鴻池新店(大阪府東大阪市)の6店舗を開店しました。既存店の改装は、幸町店(宮城県仙台市)、大館店(秋田県大館市)に加え、野田阪神店(大阪府大阪市)の大規模改装を終了させ、「やまや」への屋号変更を完了しました。合理化を図り、近隣店舗への集約のため京都アバンティ店(京都府)を閉店しました。平成28年6月末における酒販事業の総店舗数は331店舗(前年同期比9店舗増)となりました。以上の結果、当第1四半期の酒販事業業績は、売上高295億70百万円(前年同期比98.2%)、営業利益4億60百万円(同62.5%)となりました。

【外食事業】

外食産業においては、中食など他業態を含めた企業間の顧客獲得競争はさらに激しさを増しており、業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移しています。かかる環境の下、外食事業を担当するチムニーグループでは、飲食業の六次産業、原点回帰、地産地消・地産全消を継続的に推進しつつ、やきとりメニューをメインとする「炭火やきとり さくら」や「石窯ピザ Manten」の二つの新業態を導入し、来店客数の増加を実現いたしました。

平成28年6月末における外食事業の総店舗数は、直営327店舗(前年同期比16店舗増)、コントラクト92店舗(同2店舗減)、フランチャイズ289店舗(同10店舗減)、グループ店舗31店舗(同増減なし)の、739店舗(同4店舗増)となりました。以上の結果、当第1四半期の外食事業業績は、売上高115億1百万円(前年同期比98.9%)、営業利益6億33百万円(同86.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

財政状態

| | 前連結会計年度末 (平成 28 年 3 月 31 日) | 当第 1 四半期 連結会計期間末 (平成 28 年 6 月 30 日) | 増減 |
|--------------|--------------------------------|---|-------|
| 総資産 (百万円) | 69,824 | 69,706 | △117 |
| 総負債 (百万円) | 40,977 | 40,493 | △483 |
| うち借入金 (百万円) | 16,900 | 16,719 | △181 |
| 純資産 (百万円) | 28,847 | 29,213 | 366 |
| 自己資本比率 | 36.1% | 36.4% | 0.3% |
| 1株当たり純資産 (円) | 2,324.20 | 2,336.93 | 12.73 |

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて1億17百万円(△0.2%)減少し、697億6百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が1億49百万円増加しましたが、商品及び製品が63百万円、その他流動資産が1億90百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて93百万円(△0.3%)減少し、286億78百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて24百万円(△0.1%)減少し、410億28百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて4億83百万円(△1.2%)減少し、404億93百万円となりました。

流動負債は、買掛金が3億77百万円、短期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金が3億33百万円増加、未払法人税等が4億17百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて1億96百万円(0.6%)増加し、309億53百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が5億14百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて6億80百万円(△6.7%)減少し、95億40百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて3億66百万円(1.3%)増加し、292億13百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の36.1%から36.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成28年5月11日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果が、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,586 | 7,735 |
| 売掛金 | 2,375 | 2,647 |
| 商品及び製品 | 15,338 | 15,275 |
| 仕掛品 | 93 | 90 |
| 原材料及び貯蔵品 | 46 | 42 |
| 前払費用 | 963 | 955 |
| 繰延税金資産 | 804 | 578 |
| その他 | 1,724 | 1,534 |
| 貸倒引当金 | △161 | △180 |
| 流動資産合計 | 28,771 | 28,678 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 34,568 | 34,924 |
| 減価償却累計額 | △23,857 | △24,139 |
| 建物及び構築物(純額) | 10,710 | 10,784 |
| 機械装置及び運搬具 | 2,788 | 2,789 |
| 減価償却累計額 | △2,438 | △2,459 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 350 | 330 |
| 工具、器具及び備品 | 8,646 | 8,784 |
| 減価償却累計額 | △7,294 | △7,386 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,351 | 1,398 |
| リース資産 | 1,534 | 1,628 |
| 減価償却累計額 | △981 | △1,039 |
| リース資産(純額) | 552 | 589 |
| 土地 | 4,881 | 4,881 |
| 建設仮勘定 | 24 | 54 |
| 有形固定資産合計 | 17,872 | 18,038 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 42 | 39 |
| のれん | 11,414 | 11,253 |
| その他 | 31 | 30 |
| 無形固定資産合計 | 11,488 | 11,323 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 416 | 378 |
| 関係会社株式 | 575 | 564 |
| 破産更生債権等 | 5 | 5 |
| 長期前払費用 | 217 | 213 |
| 差入保証金 | 9,706 | 9,734 |
| 繰延税金資産 | 770 | 769 |
| その他 | 5 | 5 |
| 貸倒引当金 | △6 | △6 |
| 投資その他の資産合計 | 11,691 | 11,666 |
| 固定資産合計 | 41,052 | 41,028 |
| 資産合計 | 69,824 | 69,706 |

(株)やまや(9994)平成29年3月期 第1四半期決算短信

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 10,075 | 10,453 |
| 短期借入金 | 9,300 | 9,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,726 | 2,559 |
| リース債務 | 216 | 226 |
| 未払金 | 3,205 | 3,410 |
| 未払費用 | 685 | 703 |
| 未払法人税等 | 1,376 | 959 |
| 未払消費税等 | 595 | 491 |
| 預り金 | 230 | 589 |
| 賞与引当金 | 723 | 320 |
| その他 | 1,620 | 1,436 |
| 流動負債合計 | 30,756 | 30,953 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,874 | 4,359 |
| 退職給付に係る負債 | 217 | 222 |
| リース債務 | 357 | 379 |
| 役員退職慰労引当金 | 506 | 510 |
| 資産除去債務 | 1,512 | 1,545 |
| その他 | 2,752 | 2,523 |
| 固定負債合計 | 10,220 | 9,540 |
| 負債合計 | 40,977 | 40,493 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,247 | 3,247 |
| 資本剰余金 | 5,815 | 5,816 |
| 利益剰余金 | 16,009 | 16,170 |
| 自己株式 | △6 | △6 |
| 株主資本合計 | 25,065 | 25,228 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 135 | 110 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △0 | △0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 134 | 109 |
| 非支配株主持分 | 3,647 | 3,875 |
| 純資産合計 | 28,847 | 29,213 |
| 負債純資産合計 | 69,824 | 69,706 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 41,584 | 40,814 |
| 売上原価 | 28,543 | 27,920 |
| 売上総利益 | 13,040 | 12,894 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,570 | 11,799 |
| 営業利益 | 1,470 | 1,094 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4 |
| 受取手数料 | 30 | 13 |
| 受取配当金 | 6 | 6 |
| その他 | 14 | 18 |
| 営業外収益合計 | 55 | 42 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 26 | 13 |
| 店舗改装費用 | 10 | 18 |
| 店舗閉鎖損失 | 2 | 2 |
| 持分法による投資損失 | 6 | 6 |
| その他 | 9 | 5 |
| 営業外費用合計 | 55 | 46 |
| 経常利益 | 1,470 | 1,090 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | — |
| 特別利益合計 | 4 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 24 | 36 |
| その他 | 2 | 6 |
| 特別損失合計 | 27 | 43 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,448 | 1,047 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 379 | 249 |
| 法人税等調整額 | 215 | 241 |
| 法人税等合計 | 595 | 490 |
| 四半期純利益 | 853 | 556 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 268 | 221 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 584 | 335 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 853 | 556 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 65 | △29 |
| 退職給付に係る調整額 | 1 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 66 | △29 |
| 四半期包括利益 | 919 | 527 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 641 | 310 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 277 | 217 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) | 連結損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|--------|------------|----------------|
| | 酒販事業 | 外食事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,955 | 11,629 | 41,584 | — | 41,584 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 145 | 0 | 146 | △146 | — |
| 計 | 30,100 | 11,630 | 41,730 | △146 | 41,584 |
| セグメント利益 | 737 | 732 | 1,470 | — | 1,470 |

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において24百万円であります。

当連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) | 連結損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|--------|------------|----------------|
| | 酒販事業 | 外食事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,312 | 11,501 | 40,814 | — | 40,814 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 257 | 0 | 257 | △257 | — |
| 計 | 29,570 | 11,501 | 41,072 | △257 | 40,814 |
| セグメント利益 | 460 | 633 | 1,094 | — | 1,094 |

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「外食事業」において36百万円であります。